



富士見町消防出初式

～消防団新活動服お披露目～

1月10日(日)富士見町役場駐車場で、町消防団と消防署員合わせて239名の参加により「消防出初式」が行われました。消防出初式では、観閲や機械点検、第1分団と第3分団によるはしご乗り、分団長会による祝い放水を行いました。その後、分列行進を行い地域住民に防火意識の高揚を呼びかけました。

はしご乗りでは消防団員が毎晩練習してきた数々の技を披露し、はしごの最上段で行われる演技に、観覧に訪れた大勢の方々から大きな歓声があがりました。演技の最後には、第1分団と第3分団で「無火災・無災害」を祈願しました。また祝い放水は真剣な中にも笑いがあり、観覧の方々を楽しませてくれました。

また、この消防出初式から消防団員の服装が、富士見町消防団結成当時から続く黒い法被からネイビーとオレンジの鮮やかな活動服へ一新され、新しい活動服のお披露目を行いました。活動服は燃えにくい素材を使用し機能性およびデザイン性に優れています。また、編上げ靴は、釘を踏んでも貫通しないようになっており、消防団員の安全確保ができるものとなっています。

お披露目式では、中島幸孝消防団長から町長へ配備のお礼と、消防団活動の原点に戻り町民の生命・財産・生活を守るために日々訓練に励み、日ごろから防火・防犯の啓発活動に一層努力していくとの決意のあいさつがありました。

今後は、災害現場や訓練等で着用していきます。

問 富士見町消防課 ☎61-0119



▲分列行進



▲はしご乗り



「コミュニティ助成事業」は 地域活動を応援します

町では、公益財団法人長野県市町村振興協会が実施している地域活動助成事業を活用し、町消防団の編上げ靴を整備しました。この事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。町では、編上げ靴を全団員に配備しました。今後の消防団活動は、編上げ靴を履いての活動となります。

【整備された備品】 編み上げ靴 355足

